

五、生活や商売・仕事に差し支えるから脱会できない

あなたが今、学会の間違いを知らながら生活や収入のことを心配し、学会を脱会できないでいるならば、あなたは目先の損得にとらわれて、信仰本来の目的を見失っていることになります。

本来、私たちが信心を始めた目的は、真の幸福である成仏の境界を築くことであつたのです。

日蓮大聖人は、

「今既に得難き人界に生をうけ、値ひ難き仏教を見聞しつ、今生をもだしては又何れの世にか生死を離れ菩提を証すべき」(聖愚問答抄 御書四〇二ページ)と仰せられ、せつかく人間として生まれたうえは、唯一の正法である南無妙法蓮華經を受持し成仏することが、もつとも大切であると教えられています。もしも現世の生活を優先させ、日蓮正宗の正しい信仰を持たなければ、今は平穩であっても、未来には悪道の苦しみを受けることは間違いないのです。正法を受持し、誠意を尽くして仕事に励むとき、必ず世間の評価も高まり大きな信用を得て、立派に生計を立てることが出来るものです。

大聖人は、

『所願虚しからず亦現世に於て其の福報を得ん』と。又云はく『当に現世に於て現の果報を得べし』等云云」(南条殿御返事 御書九四八ページ)と、法華經の御文を引用して正法受持の功德を述べられています。

脱会した法華講員のほとんどが、創価学会員からのいやがらせをものともせず、正しい信仰の功德と自身の努力によって、見事な実証を示していることを知るべきです。